

経路図

行程

1日目

三島 6:40 (発) —東海道線→大船 8:09 (着)

大船 8:33 (発) —湘南新宿ライン (東海道線・宇都宮線) →宇都宮 11:05 (着)

宇都宮 11:12 (発) —宇都宮線→黒磯 12:02 (着) 12:34 (発) —東北本線→郡山 13:36 (着)

ここで郡山市街地を散策

郡山 14:53 (発) —東北本線→福島 15:39 (着) ここで福島市街地を散策

福島 17:06 (発) —東北本線臨時仙台シティラビット→仙台 18:09 (着)

仙台 18:57 (発) —東北本線→一ノ関 20:35 (着) 20:40 (発) —東北本線→盛岡 22:11 (着)

2日目

盛岡 8:55 (発) —IGR いわて銀河鉄道・青い森鉄道→八戸 10:44 (着)

八戸 12:02 (発) —東北本線→青森 13:40 (着)

ここで青森市街地を散策 青森 16:23 (発) —奥羽本線→秋田 19:37 (着)

3日目

秋田 7:00 (発) —羽越本線→酒田 8:49 (着) 9:23 (発) —羽越本線→村上 11:45 (着)

村上 12:22 (発) —羽越本線・白新線→新潟 13:33 (着)

新潟 14:05 (発) —信越本線普通→長岡 15:24 (着)

長岡 16:31 (発) —上越線→水上 18:33 (着) 18:36 (発) —上越線→高崎 19:39 (着)

高崎 19:58 (発) —高崎線→上野 21:46 (着) —山手線→東京

東京 22:10 (発) —東海道新幹線 (こだま) →三島 23:05 (着)



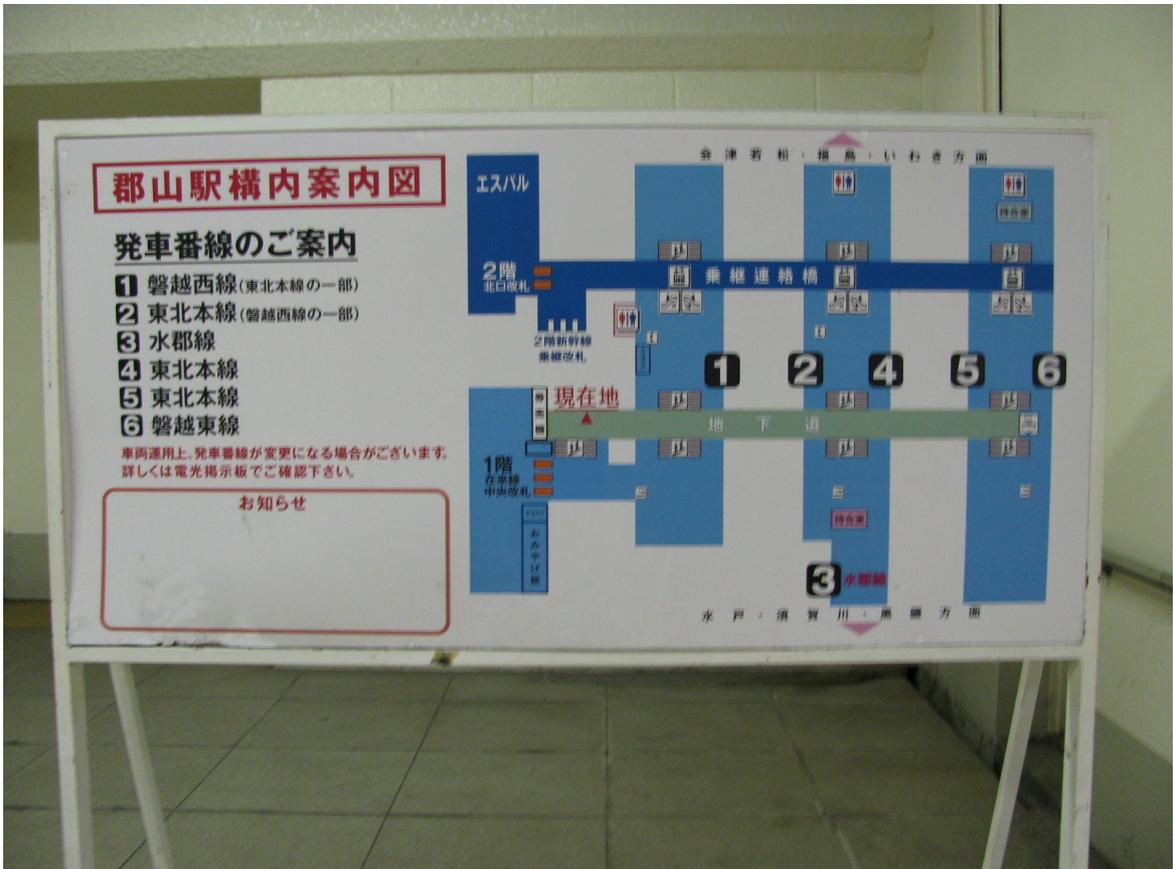
大船駅で湘南新宿ライン宇都宮行きを待つ際に京浜東北線 E233 系に出会う



宇都宮に到着後すぐに乗換え



関東平野とおさらばして、那須野が原の田園地帯を北上



郡山駅の構造



郡山～福島は丘陵の中を進むが、福島盆地に下るところ



福島駅に到着



東北地方で勢力拡大中の E721 系（福島駅にて）



福島市街地（駅より西側）



福島を出発し、東北自動車道と一緒に宮城県へ



白石川沿いを下り、仙台平野へ



仙台に到着、1日目の写真は電池切れのためこれで終了



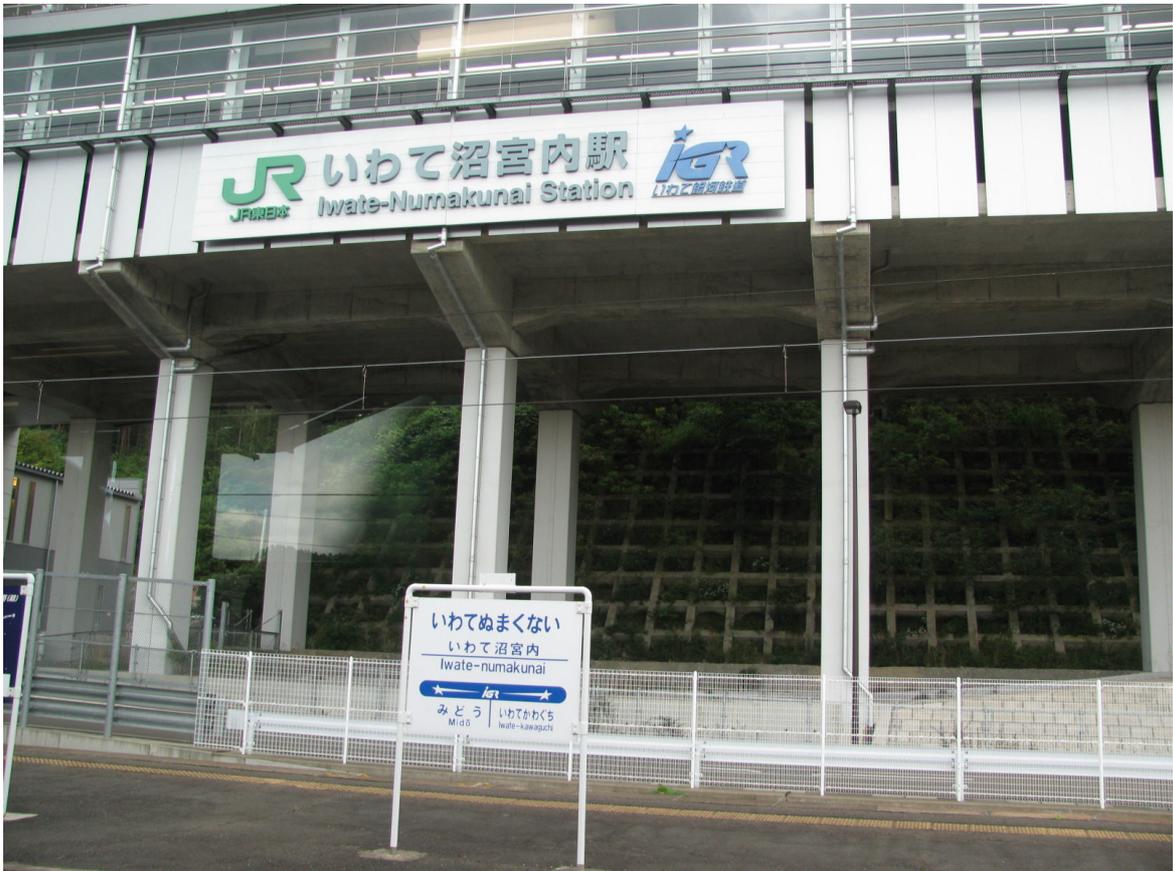
2日目は盛岡からスタート（盛岡市街地）



盛岡～八戸は第3セクターが運営している。



盛岡を出発し、しばらく登ると高原みたいな雰囲気になる（渋民～好摩）



さらに登り、山間部に入り始めると立派な駅が出現



十三本木峠を越え、下る途中の二戸駅



八戸に到着。E751系が横に並んでいる。



小川原～上北町にかけて小川原湖が東にあるが、あまりよく見えない。



ついに青森まで着ました。



青森ではよく「青い～」というのが多い。



青森では東北新幹線延伸で盛り上がっている（青森市役所）



商店街も盛り上がっている



青森駅の南方で東北本線と津軽海峡線・奥羽本線が分岐している



復路は日本海側。秋田へ向かう。



701系の車内であるが、支社ごとに座席の色等異なる（秋田支社車内）



秋田駅に到着



夜の秋田駅西口



3日目秋田を出発し、羽越本線の桂根～羽後亀田の内陸側の木は枯れているものが目立つ。



本庄付近の田は広大である。



庄内平野はより田が広大である。



酒田駅に到着



酒田駅で『特急いなほ』（485系1000番台）に出会う



酒田から村上まではキハ 40 系気動車で行く



酒田を出発しても庄内平野は広大である。



この区間は日本海を間近で見れる



越後寒川～越後早川は無数の奇岩・絶壁・洞穴が連続する笹川流れが絶景である



村上に到着。E127系に会う



今度は新潟行きに乗車



越後平野は広大である。



阿賀野川を渡ると新潟住宅地に入る



新潟に到着して、次は長岡行きの電車に乗車



長岡に到着。ここから太平洋側に向かう。



まもなく日没（小千谷～越後川口）



越後湯沢に到着する頃には夜に。その後も旅が続く。